【資料１】

第１回振り返りと第２回協議会について

１　第１回協議会の振り返り

【主な意見】

・高齢者が住みやすいまちか、若い人が住みたいまちを目指すのか
・庄戸地区で過去に同じような話し合いをしている。当時のテーマや項目の振り返りが必要
・コミュニティの場が少なくなった（医療機関、商店等）
・環状４号線の渋滞緩和
・空家の活用
・公共施設の再配置
・地域ごとのデータが欲しい
・若い世代のニーズはなにか

２　第２回協議会について

(1)庄戸地区での話し合いについて【資料 1-2】

・第１回協議会での意見を参考に、過年度に庄戸地域で実施された話し合いで出されたテーマや意見をまとめました。

ア　平成 19 年度「栄区地域の元気づくり事業」

目　　的：地域の方が地域の実情を共有し、地域の特性・資源を活用したまちづくりを行うことにより地域コミュニティの充実をはかるものです。

イ　平成 22 年度「終の棲家に相応しい街づくり勉強会」

主　　催：庄戸の元気づくり実行委員会

テ ー マ：自動車の運転が出来なくなった時でも買物・通院・外出に便利な街づくりや「５～10 年後の加齢による健康や生活環境の変化」を、家族や近所や街ぐるみで支え合う仕組みを、地域の力で築く、また、行政や他の地域の先進事例を勉強しながら「この街で長く住み続けたい」

(2)事例紹介等

・上記まとめのうち４項目について、上郷東地区内の活動事例や横浜市内の参考となる事例を紹介していただきます。

ア　生活利便性

「地域交通サポート事業」（横浜市道路局企画課）

・生活に密着した交通手段の導入に向けて地域が主体的に取り組み、コミュニティバスなどを本格運行している２地区を紹介

イ　コミュニティ・日常生活支援

「庄戸の元気づくり」（庄戸の元気づくり実行委員会）

・平成 19 年度の立ち上げから、現在の活動内容、今後の課題などについて

ウ　福祉

「野七里地域ケアプラザ」

・地域ケアプラザと地域の取り組みなどについて

「栄区地域の元気づくり事業（平成19年度）」
「終の棲家に相応しい街づくり勉強会（平成22年度）」　意見まとめ

【資料1-2】

この街で長く住み続けたい
自立して生活できる期間を長く
健康で過ごせる街

【コミュニティ】
・近所づきあい
・助け合い
・人と話が出来るぬくもりのある生活
・世代間交流
・コミュニティ情報ネットワーク

【住まい】
・一人暮らしはもったいない
・2世帯・多世帯住宅
・コレクティブハウス
・建築協定改定

【生活利便性】
・自分の足で買物に行きたい
・商店、コンビニが欲しい
・庄戸会館の有効活用
・バス便の増
・ミニバス運行
・バス事業者だけに頼らない方法

【日常生活支援】
・有償ボランティア
・お助け隊の法人化
・ボランティアの店

【環境】
・太陽光発電の街路灯

【文化・芸術】
・文化的交流
・芸術家が多様に交流・情報発信
・オペラハウス・音楽堂

【福祉】
・老人ホーム・特養ホームに興味
・かかりつけ医がほしい
・地域包括支援センター
・介護予防、リハビリセンター
・小規模多機能型居宅介護施設
・在宅介護支援・相談場所
・子どもと同居しやすい方法
・子育てしやすいまち

【その他】
・地域ニーズの把握
・女性中心に
・ハードルを低くし、参加しやすく
・空家の活用
・青空・野菜果物市